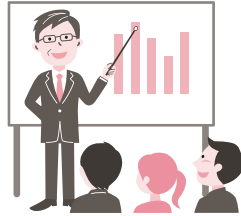


真の困窮者対策を 滋賀県野洲市に学ぶ



竹永議員は野洲市に視察に行き、「何よりも市民の抱える問題にこたえることが自治体の存在意義」との立場で滞納対策にあたる姿勢を学んで、議会質問で取り上げました。

「生活困窮は個人でどうしてもなく陥る災害と同じ、ならば税金投入をして自立まで支えるとの姿勢を参考にすべき」と大森市長に迫りました。しかし市長の答弁は、「野洲市長とは会ったことがあるが市政運営については一切話をしていない」と筋違いなものでした。

こんにちは 日本共産党の

竹永みつえ

です

2020年2月 No.78

11月議会質問から



竹永みつえ

検索



☎086-803-1707
(市議会控室)

次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に向けて

介護保険サービスの総合事業は通所・訪問あわせて253件で横ばい、利用者は1437人という実態をふまえて、現状と課題を示すよう求めました。

保健福祉局長は、「訪問型は計画通りだが通所型サービスは計画を下回っている。

訪問型サービスは職員の確保、通所型は従来のサービスとの差別化をはかり、利用者数を拡大したい」と答弁。

竹永議員は、通所型は事業者には低報酬、利用者には短時間でニーズに合わないなどの課題改善を要望しました。



全年齢に対応できる相談窓口の一本化を

市は、地域共生社会推進のために、「断らない相談体制」を目指して、複合課題のある市民に対応してきたとしています。竹永議員の質問の中で、複合課題を解決するための「つなぐシート」の活用は25件、複合課題ケース検討会50件、アドバイザー会議4件のみだということがわかりました。結果的にはほとんどのケースが、相談を受けて担当課に回しているだけでした。

竹永議員は、「複合課題で全年齢に対応できるワンストップ窓口を中学校区ごとに設置してほしい」「国も中高年の引きこもりや介護の窓口一本化に財政支援する方向なので検討してほしい」と求めました。



個人質問する
竹永みつえ市議(12/11)



多様性尊重の社会実現へ



竹永議員は、LGBT等性的少数者の皆さんが暮らしやすい市政にするため、パートナーシップ条例の必要性を継続的に取り上げています。

今回の質問では、市民協働局長が「市民意識実態調査の結果で認知度を確認し判断したい」と答弁。少し前向き答弁でした。

生活・法律相談しています。

西大寺中野の党事務所

☎086-942-1780

毎週月曜日 生活相談 午後6時半～
第3月曜日 法律相談 午後6時～(弁護士も来ます)

コープ西大寺診療所

☎086-944-0088

第4水曜日 午後6時半～(要予約)

上道の党事務所

☎086-297-9515

第2水曜日 午後6時半～

★議会日程の関係で急に中止になる場合もありますので事前にお電話を！